

決意新たに巣立つ

戸田中央看護専門学校 21期生の103人

戸田中央看護専門学校(戸田中央)に巣立った。

戸田中央看護専門学校(戸田中央)の2017年度卒業式が12日、同校講堂で行われ、看護学科21期生の103人が決意も新たに巣立った。



中村毅校長から卒業証書を受け取る看護学生
=12日、戸田市本町の戸田中央看護専門学校

される—これに勝る幸福はない。君たちは人々の役に立つ人生を送ることになります。その優しい手と心で、苦しい日々を過ごしている人々を世話するようになるのだから」

21世紀の現代の看護の現場にも通じる言葉とした上で、「TMG(戸田中央医科グループ)の理念は『愛し愛される病院・施設』。愛される看護師として、地域社会に貢献してほしい」と激励した。

関係者や保護者らが見守る中、卒業生の岡本真由美さんは答辞で「患者さまの生活背景を捉えることで、その人の思いや個性につながっていく。患者さまを思う気持ちや行動が、関係性を築いていく」と実習での学びを振り返り、今後看護の現場で生かしていくことを誓った。

同校は1977年の開校以来、3165人の看護師らを輩出。卒業生の多くが戸田中央医科グループ傘下の医療機関で働いている。

(中野えみり)